

第5回 まちづくり法人  
国土交通大臣表彰  
審査結果

平成28年5月

国土交通省都市局まちづくり推進課

# 総 評

これからの民間及び都市施設を含む地域のまちづくりにおいては、持続的にまちづくりを推進し既存ストックの活用や柔軟な手法によるスピードアップ等「民」の力が最大限に発揮されることが期待されています。

第5回目となる今回のまちづくり法人表彰においては、まちの活性化や魅力創出に貢献した取組、まちづくり活動で活躍する人々を応援してまち全体の活力向上に貢献した取組等、全国から多くの優れた取組の応募がありました。

厳正な審査の結果、2組の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、今後の更なる活動の発展を期待する取組について審査委員会から「特別賞」を選定することといたしました。今回受賞された取組は、先導性・公益性・効果・継続性の観点から、総合的に優れており、全国のモデルとなるような取組として審査委員会の高い評価を得たものです。

今回惜しくも受賞に至らなかった取組を含め、次回もより多くの優れた取組が応募されることを期待しております。

## 《まちづくり法人表彰等審査委員会》

委員長	奥野 信宏	(中京大学理事)
委員	遠藤 健	((株)日本政策投資銀行地域企画部課長)
委員	佐藤 滋	(早稲田大学理工学術院教授)
委員	村木 美貴	(千葉大学大学院工学研究科教授)

(敬称略、五十音順)

**【まちの活性化・魅力創出部門】 国土交通大臣賞**

**ふらのまちづくり株式会社**

◆所在地：北海道富良野市

◆活動概要：富良野市の10年後、20年後を見据え、広く市民の意見も集約し、策定した新富良野市中心市街地活性化基本計画構想骨子「ルーフランフラノ構想(=富良野流コンパクトシティ)」に基づき、民間「ふらのまちづくり株式会社」が中心に、中心市街地を富良野市の特色や資源を活かし、まち全体の活性化を図る拠点、コンパクトシティの再構築を目指し、行政との協働連携のもと、まちの活性化の諸事業を効果的に企画調整・事業展開する活動を行っています。

◆選定理由：民間が主体となり行政と連携して、コンパクトシティ化を進める取組を通じ、周辺の地価上昇など具体的な成果が発現しているほか、住民が楽しめる空間づくりがなされていること等、まち活性化や魅力創出に貢献した安定的・継続的な取組であると高く評価されました。



▲東4条街区地区第一種市街地再開発事業（ネーブルタウン）アトリウム



▲市民の利活用拡大するアトリウム

**【まちの安全・快適化部門】 国土交通大臣賞**

該当なしとなりました。

## 【まちづくりの担い手サポート部門】 国土交通大臣賞

### 有限責任事業組合 富田林町家利活用促進機構（LLP まちかつ）

◆所在地：大阪府富田林市

◆活動概要：大阪府下唯一の重要伝統的建造物群保存地区「富田林寺内町」を中心に、かつてのようにまち中に産業が根付き、歴史的建造物等の空き家が利用されるように、歴史的景観に調和した「アートと工房のまちづくり」をテーマに、ものづくりの店舗・工房等を中心とした誘致活動を行っています。

◆選定理由：空き家となっている伝統的建造物の利活用に限らず、当団体の出資者が地域の様々な組織に所属して活動する等の取組により、関係者がもつノウハウを活かした新たなネットワークの構築など円滑なマッチングが進み、更には新たな入居者が各組織に加わることによる地域の担い手確保に貢献していることが高く評価されました。



▲空き家活用の例



▲元酒蔵でのイベント（着物ファッションショー）

## 【特別賞】

### 【まちの活性化・魅力創出部門】

# 特定非営利活動法人 横町十文字まちそだて会

◆所在地：青森県黒石市

◆活動概要：歴史ある建物やものづくりの技店、販売の達人などの小さな個性を市が「黒石市小さなまちかど博物館」として認定しており、これらを活用して「歩いて回れるくつろげる街」の実現を目指し、まち歩きツアーなどのイベントの実施や、手仕事作品を提供する「十文字カフェ」をオープンするなど中心市街地の賑わいを創出しています。

◆選定理由：限られた地域資源のなかで創意工夫により、地域の特色を最大限に活かした独自性のあるまちづくりを推進しています。小規模ながら多彩な取組は、同規模の地方都市のまちづくりのモデルとなりうる取組として評価されました。



▲まち歩きツアー



▲十文字カフェ